

# 福岡スタイルと施策の体系図

		施 策	
子ども	1	確かな学力の向上	各学校や児童生徒一人ひとりの課題で深い学びの実現を図る。
	2	豊かな人権感覚と道徳性の育成	学校教育活動全体を通じた人権教育生かした様々な体験活動を通して、
	3	健やかな体の育成	「遊び」をキーワードとして運動習慣し、生涯にわたって心身の健康を保持
	4	いじめ・不登校等の未然防止・早期対応	いじめや不登校をはじめとする、子ども総合相談センター等の関係機
	5	特別支援教育の推進	一人ひとりの教育的ニーズを把握し、
	6	魅力ある高校教育の推進	高校教育改革に関する国の動向を踏教育の実現を図る。
	7	グローバル社会を生きるキャリア教育の推進	郷土福岡の伝統や文化等の学びの推にも、家庭や地域・企業等と連携して
	8	読書活動の推進	子どもが進んで学校図書館に足を運の向上及び豊かな心の育成を図る。
		<p><b>1</b> 9年間を見通した小中連携教育</p> <p>★小学校段階で複数教員による指導や習熟度別指導を充実させ、確かな学力の定着を図るとともに、小中の円滑な接続を図り、小中が連携して義務教育9年間を見通した教育活動を実施する。</p>	
学校・教員・教育委員会事務局	9	チーム学校による組織力の強化	子どもを取り巻く様々な課題に対応「チーム学校」による学校の組織力
	10	学校と家庭・地域等の連携強化	学校の教育目標やめざす児童生徒像家庭・地域等の力を学校の教育活動
	11	資質ある優秀な人材の確保	必要な教員数を確保するとともに、
	12	教職員の資質・能力の向上・活性化	福岡市教員育成指標に基づいた研修推進を図る。
	13	コンプライアンスの推進	体罰を含めた不祥事の根絶をめざし
	14	安心して学ぶことができる教育環境の整備	安心して学習できる良好な環境を確増減に対して、地域の理解と協力を
	15	教員が子どもと向き合う環境づくり	本市においても教員の在籍時間は専念できる環境づくりの推進を図
家庭・地域等	16	子どもの安全確保に向けた取組みの推進	子どもの安全を確保するため、学校
	17	家庭・地域等における教育の推進	子どもは家庭で基本的な生活習慣や規おける教育の推進を図る。

福岡スタイル  
特に重視する3つの  
教育の方法

## ねらい

に応じた学力向上の取組みを継続していくとともに、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を実施し、主体的・対話的

や、考え、議論する道徳教育により、多様性を認め合い、人権を守ろうとする意識・態度をはぐくむとともに、学校の特色を豊かな心の育成を図る。

の基礎を培い、運動に親しむことを通して、体力向上の取組みを推進するとともに、健全な食生活の基礎となる食育を推進増進していく力の育成を図る。

もが抱える様々な課題への取組みを小中が連携して推進するとともに、その兆候をいち早く把握し、早期対応を行う。また、関とも連携しながら、課題を持つ子どもへの支援を行う。

その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援の推進を図る。

まえ、各校の特色ある教育活動や教育内容の魅力をも効果的に高めるため、焦点化・重点化した取組みを推進し、魅力ある高校

進とあわせ、実践的なコミュニケーション活動を取り入れた英語教育等、グローバル社会に対応できる力をはぐくむと職業的・社会的自立の基礎となる資質・能力の育成を図る。

び、学習に役立てるとともに、読書の楽しさを味わえるよう「読書・学習・情報」センターとしての機能を充実し、確かな学力

## 2 子ども・家庭への支援

★不登校やいじめなど、支援を必要とする子どもや家庭に、教育・心理・福祉の専門スタッフが連携して支援し、すべての子どもの未来をはぐくむ。

するため、専門スタッフを充実させるとともに、校長のリーダーシップのもと、自律的な学校経営を推進することにより、の強化を図る。

、教育活動を積極的に発信し、家庭・地域等と共有するとともに、サポーター会議やコミュニティ・スクールなどによりに生かすことで、社会に開かれた教育課程の実現を図る。

資質及び実践力のある教員を採用するため、戦略的な人材確保を図る。

講座の実施や、個別の課題やニーズに応じて選択できる研修の充実など、教職員一人ひとりの資質・能力を高める研修の

て、各学校が主体的にコンプライアンスの推進に取り組む組織風土づくりを行い、教職員一人ひとりの倫理意識の向上を図る。

保するため、事業の優先度を的確に見極めつつ、学校施設の維持管理や整備を図る。また、少子化や都市の成長に伴う子どもの得ながら、よりよい教育環境の整備を図る。

増加しており、学校や教員だけでは解決できない抜本的な方策や取組みを行い、教員が子どもに深く関わり、本来の業務にる。

が家庭や地域、警察等の関係機関と連携をとりながら、社会全体で子どもの安全を見守る取組みの推進を図る。

範意識を身に付け、地域で様々な人と関わり合いながら学び成長していくため、PTAとも連携しながら家庭・地域等に

## 3 ICTを活用した教育活動の充実

★子どもに情報技術を手段として活用できる力をはぐくみ、効果的な学習活動を行うため、学校において日常的にICTの活用を図る。